



Rotary Club of AMA weekly report.

2015-16年度
国際ロータリーデーマ



世界へのプレゼントになろう

2015-16年度 RI 会長 K.R.ラビンドラン 第2760地区ガバナー 加藤 陽一

会長 東海 広光 副会長 西川 広樹 幹事 児玉 憲之

例会日 毎週月曜 例会場 名鉄グランドホテル

事務所 〒453-0015 名古屋市中村区椿町17番16号 丸元ビル

TEL (052) 451-6617 FAX (052) 451-6710 e-mail : kk01-ama@eos.ocn.ne.jp



基目寺観音

2015年10月5日（曇り） 第1週 第2127回例会

Song

”君が代・奉仕の理想”

Guest

前田幹雄氏（横井久雄君ゲスト）

米山奨学生 グエン シン コン君

Attendance

会員	78名	欠席	13名	出席率	90.32%
----	-----	----	-----	-----	--------

President Time

東海 広光 会長



皆さん、こんにちは。今月のロータリーの特別月間は「経済と地域社会の発展月間」ともう一つ、日本独自の「米山月間」です。ロータリーの特別月間はロータリアン一人ひとりが、ロータリーの活動に参加するよう強調するため、国際ロータリー理事会が指定した月間のことです。今日は米山記念奨学会についてお話をしたいと思います。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。2013年～14年度の寄付金収入は13億3746万円と過去5年間で最高でした。米山奨学事業は、日本のロータリークラブの礎を築き、その発展に偉大な足跡を遺した、故米山梅吉氏の遺徳を記念して「米山基金」をつくり、アジア地域の優秀な学生を日本に招いて、2年間研究させようというものでした。「1カ月のタバコ代」を節約して、留学生支援に、というスローガンで、

1952年に古沢丈作会長の下、東京ロータリークラブで始められたこの運動は、やがて日本の全クラブの共同事業に発展し、1967年、文部省（現在の文部科学省）の許可を得て財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。その後、2012年に公益財団法人ロータリー米山記念奨学会となりました。後世に残るような有益な事業を立ち上げたい。そこには「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい」という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。ロータリー米山記念奨学会史によりますと、「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」と記載されています。これまで支援した奨学生数は、累計で18,104人（2014年7月現在）。その出身国は、中国、韓国、台湾、マレーシア、ベトナム、インドネシア、バングラデシュ、タイ、スリランカ等、世界123の国と地域に及びます。今年の2760地区の奨学生は36名で、前記のアジア以外にメキシコ、ウガンダ、ドイツ、アメリカ合衆国などと世界中から受け入れています。また奨学生の学友会も台湾、韓国、中国、タイ、ネパール、モンゴル、日本に発足されていて、奨学期間終了後もロータリーとの絆を結び、学友同士の友情を深める役割をはたし、活発な活動を展開いたしています。

Today

10月19日（第2128回）

担当

立松 絹久 プログラム委員長

演題

卓話「夢への挑戦」

元バレーボール国際審判員 西口昭徳氏

Next Week

10月26日（第2129回）

担当

立松 絹久 プログラム委員長

演題

卓話「四季の会」

山田幸治君

米山奨学生 グエン シン コン君



Phase 1 : A lucky man

友達が水牛

生まれてから農業の仕事に馴染んできました。姉も学校がなくなってから家族の仕事を手伝いました。同年代の友達も同じように小学校から田植え、お米の収穫、野菜栽培の仕事に慣れてきました。私も例外ではなかったです。ベトナムの学校が足りないため、朝、昼間、夜の3勤に分かれています。ですから勉強時間が短くて、長くて一日4時間位でした。残り時間は友達とひたすら遊ぶか、家族の仕事を手伝います。私の家には水牛2頭を飼っています。一般の牛とは違い、毎日野原や畑に連れて、草を食べさせなくてはならない。それで、小一年生から私は大きな2頭の水牛の飼い主になりました。水牛のお腹が大きくて、黒板にしました。仲間も数学が大好きで、仕事しながら数学への興味・関心を育ててきました。おいしい草がある野原まで一時間もありませんが、友達とおしゃべりしたり、水牛の背中に乗って数学のクイズなどで争ったりしてきました。振り返ると、大変な仕事をしましたが、自然と動物と付き合っ、穏やかな環境の中で学問への感心を高めることが出来て大変充実した時間でした。

特別な参考書

私の家庭には4人兄弟学校に通っています。そのため、教科書が一番上の姉のものを使っていました。兄弟の年も離れていますから、古い教科書が使えないこともあります。節約のため、新学期が始まる前に先輩を探し、本を借りて一年間勉強してから返却するというやり方をしました。でも高校に入り、難しい大学受験するために教科書だけでは

米山記念奨学会の1番の特徴は、規模が大きいことではありません。「世話クラブ・カウンセラー制度」によって、毎月例会に参加し、ロータリアンと交流することにあります。この交流こそが、ロータリーがめざす平和への第一歩です。人は、人生のなかでさまざまな人と接しながら、学び、変わっていきます。ある人との出会いが、人生を変えることも多々あります。米山奨学生は、たくさんの国の中から日本を選んで、専門知識を学びに来た、優秀な人材です。将来の世界を支える彼らに、日本人の「心」、ロータリーが求める「平和への願い」を理解してもらい、大きなチャンスです。戦争や領土問題などによって、民間交流は時に途切れそうになったり、互いが不信に陥ることもあります。けれども、国民同士の友情なくして真の平和はありません。政治や国というフィルターのない、人と人との交流の積み重ねこそが、絆を少しずつ強くします。63年にも亘る、日本だけの素晴らしい米山記念奨学委員会は、我々ロータリアンとして胸を張って誇れるものだと思います。世話クラブとして育む奨学生との絆、母国で又は日本で活躍する奨学生の姿は、ロータリーの明るい将来を約束するものだと思います。そして私達ロータリアンが自ら出来ること。それは米山奨学会への寄付、奨学生のお世話、学友との繋がりを深めること等だと思います。どうか会員の皆様におかれましては、ご理解をいただきましてご協力をよろしくお願いいたします。

Secretary Report

児玉憲之 幹事

- 1 鈴木正徳君が第4回米山功労者に寄付されました。
- 2 鈴木和彦君が第18回米山功労者、第9回マルチプル・ポール・ハリス・フェローに寄付されました。
- 3 第4回定例理事会のご案内

日時 10月5日 18:00

場所 炭火焼肉「一徳離宮」



NOP法人 元気大治まちづくりへ助成金進呈

とってできない状況に置かれました。兄弟の中で私が最も勉強できたので、親にお願いすれば何とかしてくれると思いますが、親の頑張った姿を見るだけでお金の惜しんで、参考書も買わなくて、塾にもいけなかったです。塾にいけませんが、独立性格であり、自習が得意です。そのため高一のときから、学校全体のトップ成績に努めて来ました。高2になって、数学・物理・化学を後輩に教えていました。教科書の問題や、塾で彼らが分からない問題を中心に私が解説しました。黒板がなくて、家のドアを使って教えていました。人に教える時、気づいたのは難しい問題を如何に簡単に教えることと、一つの問題から理屈が分かれば様々な問題に作り出すことができます。それで本を買うよりも、自分で教科書を掘り下げた方がいいじゃないかと思って、行動を始めました。薄い教科書に飽きずに、一つ一つの概念、定理、公式の意味・証明の仕方自ら自分に問い続けて、当たり前のようなものをちゃんと説明できるように努力しました。参考書を買うより、自分で内容を掘り下げて、問題集を作って後輩や同級生に教えました。このやり方で、参考書を買わなくても、塾にちゃんと知っている人にも教えることができ、大学受験で志望校のトップ成績を修めました。今振り返ると、困難な状況に置かれても試練だと思い、努力に怠けなければ必ず成果がでると信じています。

東工大に不合格

三つ目の話は日本での大学受験の話です。第一希望の大学が東工大でしたが、落ちてしまいました。一つの扉が閉まりますが、そこに止まらずに方向を変えれば、新しい扉が待っているということが分かってきました。東京に離れて名古屋にやってきましたが、なかなかよい雰囲気でした。にぎやかすぎない、忙しすぎない町でゆっくり生活できます。この地域に自動車産業をはじめ、モノづくりの歴史があるため私にはぴったりでした。東京に離れた時、泣きそうな顔をしましたが、今は運が恵まれていると思っています。一年生のときから色々な工場を巡って、見学や研修しました。新日鉄、トヨタ、マキタ、金型の会社、機械部品を加工する会社などで、積極的にインターンシップや会社を訪問したりして勉強したりしてきました。そしてこの秋から工場長養成塾プログラムに採用されており、6ヶ月間で大学と工場を一環となって経験できる機会もいただきました。今振り返って、この選択こそ私にいいことだと思っ

ています。

実に東工大にOpen-Campus、つまり大学を見学しに行きましたが、あまりにも大学が大きすぎて、立派な大学だけで懂れていました。ここで何を勉強できるかを考えるよりも、ここに入ると自分にも家族にもまず誇りを持てます。そして就職には多分苦労しなくて済むでしょうと思っていました。でもこのような考え方ですと、自分自身好きなことをどんどん忘れてしまい、回りがどのように見ているのかを気にして生きていくという落とし穴があると思っています。東工大に落ちて、このような落とし穴から速く開放されたので、私には運が恵まれていると言い訳しました。

Phase2 : Open the door, outside is so wide

安定と冒険どちらにしますか

大学2年生の時豊田自動織機の会社説明会に参加して初めて、豊田佐吉さんの言葉を耳にしました。「障子を開けてみよう 外は広いよ」この言葉でジンとしました。実はこの言葉を聞く前に、私も大胆な決意を下ろさなければならぬ状況に置かれていました。遡って、私が日本に留学した決意についてお話いたします。高校卒業して、大学受験しました。穏やかな性格で、人の命を大事にしたい私が医科大学に挑戦しました。お陰様で、よい成績を修めて見事にベトナムで最も難しいと言われるハノイ医科大学に合格できました。でも困難な選択はここからです。大学の合格通知書が届いた同時に、日本留学予備コースも合格したという結果も手に入りました。ベトナムでまじめに勉強すれば、今後立派な医者さんになり、家族や先生たちも大喜びであろう。一方日本に留学する選択にすれば、いくつかの覚悟が必要です。

- ・まず、今までまったく知らない日本語を二年間でマスターしなければなりません。
- ・ベトナムの教科書を一旦忘れて、日本の教科書を使って勉強しなければなりません。
- ・日本語学校に通うとき新聞配達の契約をしなければなりません。基本的に私費留学生として日本に来ます。生活費や学費などは全て自分で負担します。
- ・日本の大学に合格できる保証がない。合格できないと帰国しなければなりません。

比較の条件を並べて、結局日本に留学するを選択しま

した。日本に留学するのは大変ですが、外からベトナムを見ることができ、家族から自立できると思ったからです。18歳の若さで経験がなくて、完全に勤に任せて冒険心を試しました。でも私は後悔しません。「外は広いよ。本当に広いよ」豊田佐吉さんの言葉の意味を少し味わってきました。

世界は広くて面白いよ

日本に来てから6年目になりました。この6年間、東京から福岡まで色んなところに行ってきました。ところがベトナムと日本以外の国に行ったことがないです。つい今年の夏休みに、8月から9月にかけてアメリカにインターシップしに行ってきました。Detroitから美しいカナダも見えました。Michigan大学を見学して、約200年の歴史がある図書館に入り、学問の素晴らしさを感じました。現地の友達と楽しんだりして、一ヶ月でたっぷりアメリカの文化を体験しました。やはり百聞は一見にしかず、現地で過ごしたこの一ヶ月で、今までの考え方や体験を新たな鏡に映っています。例えば日本型のチームワークにあまりにも注目しすぎて、個人主義のよさを見失ってしまいましたが、アメリカの会社で働いて、個人と個人の間の競争の激しさを感じていました。一人ひとりのスキルが高くて、仕事への取り組みが大変効率よいという印象でした。逆に、お店に行くと、日本ならではのおもてなしを改めて感じていました。6年間で慣れてしまうのか、サービス業界ではおもてなしが当たり前だと思っていましたが、外に行くとそうとは限りません。日本のおもてなしの素晴らしさは、世界にも誇るべきだと思っています。そして、今回の旅は、もう一度私の中に眠っている好奇心・冒険心を起こしました。これからもっと世界に行き、世界の異なる面白さ、当たり前のようなことだが当たり前ではないことを体験したいと考えています。方向として、先進国だけではなく、新興国にも足を運んで、この格差を肌で感じたいと考えています。

Phase3 : The key is education

格差の中最も大きなのは教育の格差

いままでの体験から、日本やアメリカの先進国と、ベトナムのような新興国と格差が最も大きいのは教育だと思っています。教育というのは学校の教育だけではありません。家族からの教育、社会からの教育、そして仕事からの教育

ということです。貧しいから学校に行きたくても行けない子供は、ベトナムにはまだたくさんいます。裾野産業に参加したくても、品質をどのように保証するのか、2Sをどのようにすれば徹底できるのか分からないベトナムの中小企業はたくさんあります。運が恵まれている男として、外を見る機会も多くありましたので、微力ではありますが、今後この格差をなくそうと努力して参ります。

日本から借りるもの

日本に留学できるのは、周りの方々のお陰だと考えています。日本の社会、日本のモノづくりを実際に触れることが出来て、日本の知恵を借りたくなりました。革新の変革は同じものを許しませんが、その革新を支える基礎の技術などは、時代が変わっても社会における位置づけの変化がないと考えています。日本の知恵は職人さんにあるのは確かですが、それ以外に本の中にもたくさんあります。それで日本の知恵を借りるため今本を読み、よいものを選択して、ベトナム語にして発信しています。2013年から名工大のベトナムの留学生を中心に日経新聞、日経雑誌、本などを読み、気になる記事をわかりやすいベトナム語に訳し始めました。グループの正式な名前はVietFujiであり、Vietはベトナム、Fujiは富士山ということで、日本とベトナムの架け橋になるという狙いです。グループのロゴに本を中心に、後ろに日本を表象する太陽があり、周りに回っている小さな惑星がベトナムである。ベトナムが日本の光を借りて頑張っているという考えで創られました。今まで最も力を入れて活動しているのは本の翻訳、日本語の記事をベトナム語にまとめて発信していることと、雑誌を編集することです。最初に印刷版があり、各日本各大学のベトナム留学生に送りましたが、予算が足りず途中で電子版だけを公開することにしました。将来的に多くのモノづくりに関わる本を翻訳して、著作権を得てからベトナムに出版する予定です。野望として、日本のモノづくりのよさを、雑誌やVideoのような媒体を通してベトナムの大学や中小企業に発信したいと考えています。



東海広光 会長

- ・会員の皆様のご協力で、本年度も4分の1を無事に終えることが出来ました。あと4分の3です。よろしくお願いいたします。
- ・AMA79ご参加の皆様、大変楽しい会を有り難うございました。西川副会長、ワインの差し入れ、有り難うございました。
- ・ニコボックスの皆さん、何時も有り難うございます。順調なスタートで、会員の皆様にはただただ感謝でございます。1年間変わらぬ投函をよろしくお願いいたします。
- ・立松君、藤田隆志君、楽しいファイヤーサイドミーティングを有り難うございました。また一歩お互いに近づけました。
- ・グエン シン コン君、今日は卓話をよろしくお願いいたします。楽しいお話を期待しております。

西川広樹 副会長

- ・東海年度ゴルフ部会4組16名の出席、有り難うございます。11月19日ボジョレーヌーヴォーもよろしくお願いいたします。

児玉憲之 幹事

- ・グエン シン コン君、本日の卓話、よろしくお願いいたします。

神戸政治君

- ・久しぶりのニコボックスです。

中西 巧君

- ・AMA79にご参加の皆様、お疲れ様でした。楽しい時間を有り難うございます。

高山 敏君

- ・AMA79にご参加の皆様、楽しい一時を有り難う。また、世話人代表の渡辺君、色々と気遣い有り難うございます。

後藤袈裟美君

- ・木下君、結構な物いただき有り難う。

家田安啓君

- ・秋らしくなりました。風邪をひかないように。

今西邦弘君

- ・ニコボックスの皆様、お疲れ様です。

稲垣秀樹君

- ・3歳の娘が、パパの携帯でゲームしていた時のことです。突然「パパ、ゲームができない」、見たらアプリが全部消されていました。大事なデータが全部なくなってしまい、大変ショックです。

川口信義君

- ・すっかり秋ですね。涼しくなりました。

栗木和夫君

- ・新年度3ヶ月経過。体重3kg増量。中西君、アドバイスよろしくお願いいたします。

黒野晃太郎君

- ・グエン シン コン君、卓話頑張って下さい。

水野 真君

- ・今日、結婚して62年目。夫婦共すっかり忘れてました。そんな日です。

田中正博君

- ・2週連続で休みまして、ニコボックス委員の皆様失礼いたしました。

山田幹夫君

- ・米山奨学生グエン シン コン君の卓話を楽しみにしています。

山田尊久君

- ・大治のちびっこ農園の収穫祭、楽しみにしています。

10月誕生日をお迎えの方々より

投函件数18件 合計 60,000円